

加東市教職員海外視察研修

(平成28年9月28日～10月1日)

英語教育とICT教育に先進的に取り組む韓国・大邱市を、市内小・中学校の教員14人が視察しました。

昨年度の視察先は大邱教育大学附属小学校と慶北大学附属中学校で、今年度は、大邱市立の小・中学校と、英語教育施設を視察しました。



視察先

○大邱市立セロン小学校

ICT環境の整備が進んだ韓国においても、最先端のICT環境(タブレットPC等)を活用した学習を実施しています。

○大邱市立セロン中学校

英語によるコミュニケーションを中心とした学習を実施しています。

○グローバルステーション

地下鉄の駅構内にあり、小・中学生の校外学習や教員の研修、市民の学習に利用されている施設です。日本・中国・ヨーロッパ・アフリカなどのブースがあり、英語はもちろん、他国の言語や文化についても学ぶことができます。

○大邱慶北英語村

宿泊も可能な英語教育施設です。空港のゲートやホテルのフロント、銀行やコンビニ等を再現したブースがあり、自国にしながら、国外留学と同様の体験ができます。

視察後は、小学校教員が外国語活動(総合的な学習の時間)を全て英語で実施する、また、タブレットPCを活用して発表するなど、加東市の教育に生かすことができる内容を取り入れた研究授業を全6回実施し、成果と課題について検討しました。

今後、視察や授業研究の具体的な内容や成果を報告書としてまとめ、各学校で活用します。

※報告書は、4月に加東市教育委員会ホームページへ掲載します。ぜひご覧ください。

子どもたちの情報モラルを高めるために

情報化が進み、生活がより便利になる一方で、インターネットの不適切な利用による犯罪被害やSNS・電子メール等による誹謗中傷などのトラブルが大きな問題になっています。

加東市では、子どもたちがインターネット・SNSを正しく安全に利用できるよう、ネット見守り活動や専門家による情報モラル学習を実施しています。

学校オープンで開催される『情報モラル学習会』は、保護者や地域のみなさんにも参加いただけます。ぜひお越しください。



【先生や子どもたちの声】

<先生から>

- 電子黒板を使って写真や動画を見せると、子どもたちの興味を一気にひきつけることができます。
- 授業のテンポがよくなって、子どもたちの活動にたくさん時間をかけることができます。
- デジタル教科書や自作資料、インターネット上の教材など、授業のねらいに迫るために必要なものを選んで活用することができるので便利です。

<子どもたちから>

- 先生や友だちが写真や動画を使って説明してくれるので分かりやすいです。
- パソコンを使って調べたり、発表したりするのが楽しいです。

加東市では、そうした変化の激しい時代においても、ふるさとを愛し、自らの夢に挑む、自立した子どもの育成を目指し、グローバル化・情報化に対応した教育を推進。平成21年度から電子黒板・書画カメラ・デジタル教科書等を整備し『教育のICT化』(教育への情報通信技術の導入・活用)に積極的に取り組んでいるほか、平成24年度から研究推進校を毎年

グローバル化の進展や人口知能(AI)の飛躍的な進化によって、経済・社会・生活に大きな変化が訪れようとしている現代。世界各国の研究者からは、今後の10年から20年の間に『半数近くの仕事が自動化される』『子どもたちの65%は、今はまだ存在していない職業に就く』などといった予測も打ち出されています。

昨年10月、日経BP社が発表した『公立学校情報化ランキング2016(※)』によると、加東市の公立小中学校の情報化進展度は、兵庫県内で第1位でした。

兵庫県で第1位! 加東市のICT教育



今月は、加東市の先進的なICT教育について紹介します。

ICT機器は、子どもたちの興味関心を高めたり、学習内容への理解を深めたりするのにも有効なツールの一つです。子どもたちの実態や学習場面に合わせて活用することで、学習効果がより高まります。さらに、ICT機器を使って課題について調べたり、分かったことや考えたことをまとめて発表したりすることで、情報を有効に活用する能力が高まります。

2校指定して、ICTを活用した授業を公開しており、研究や教員の研修にも力を入れています。



※日経BP社『公立学校情報化ランキング2016』

文部科学省による『学校における教育の情報化の実態等に関する調査』の結果をもとに、コンピュータ・電子黒板・デジタル教科書の整備率や教員指導力、教員の研修受講状況等から算出したランキングです。

平成28年度

ICT教育研究推進校の取り組み

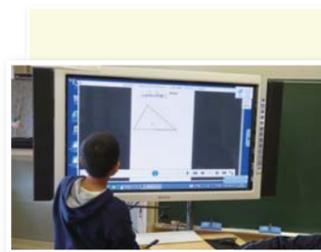
【米田小学校・鴨川小学校】



① 授業のはじめ 勉強する内容について、説明だけでなく視覚的に理解させる。(米田小1年 算数)



学習のめあてを確認するために、電子黒板やタブレットPCで、自分の動きを見る。(鴨川小3・4年 体育)



② 話し合い活動 電子黒板を使って拡大図や縮図の描き方を説明し、よりよい描き方について話し合う。(鴨川小6年 算数)



タブレットPCで試合の様子を撮影してチームの動きを確認し、次の試合の作戦を考える。(米田小5・6年 体育)



電子黒板で絵や図を写し、自分の考えを分かりやすく説明する。(米田小4年 算数)



自分たちが撮影した地域行事の様子を映し出し、気付いたことを発表する。(鴨川小2年 生活科)

③ 学習のまとめ

学習内容の理解を深め、次の学習への意欲を高める



学習のまとめとして、今日の勉強で分かったことや思ったことを発表する。(鴨川小6年 総合的な学習)



学習したことを振り返ったり、次の授業の学習内容を伝えたりする。(米田小6年 図工)